

# 諫早市教育委員会議事録

令和2年第6回（5月定例）

# 令和2年第6回（5月定例）教育委員会

1 日 時 令和2年5月27日（水） 16時30分～17時50分

2 場 所 諫早市役所 8階 会議室8-3

3 出席者 教育長 西村 暢彦  
委 員 秀島 はるみ  
委 員 宮本 峻光  
委 員 原田 裕介  
委 員 山口 秀雄

4 会議に出席した事務局職員

教育次長	高柳 浩二
教育総務課長	田島 正孝
学校教育課長	有谷 孝彦
生涯学習課長	佐藤 小百合

5 議題

報告第11号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案についての意見の申し出について（「令和2年度諫早市一般会計補正予算（第1号）」中、12款教育費））

## 議事録署名人の指名

秀島委員と宮本委員を議事録署名人に指名

## 議事録の承認

令和2年第5回（4月定例）教育委員会の議事録について  
質問・意見なし  
原案どおり可決

## 教育長等の報告の要旨

### 《教育長の報告》

#### 1 諫早市立小・中学校の学校再開について（5月6日時点）

報告資料1ページは、新型コロナウイルス感染症対策として休校していた学校の再開について、各諫早市立小・中学校長にあてて発出した文書である。小学校は5月11日（月）から13日（水）までは午前中授業（給食あり）、5月14日（木）から通常授業とした。新型コロナウイルス感染症対策の一つとして、学校給食はできるだけ避けたほうがよいという意見もあるが、学校休校中に子どもたちが栄養のある食事を取れているであろうかという思いから、給食は実施した。

また、小学校の校長からは、最初の3日間は午前中授業でとても助かった、学校再開において子どもたちがスムーズにスタートできたという意見をもらった。

中学校については、5月11日（月）から通常授業としたが、部活動については、11日（月）から13日（水）までは中止とした。

2ページは、学校が再開されたことで、より慎重に、一層気を引き締めてほしいという思いから、徹底事項を記載している。

3ページは、学校再開における保護者あて文書である。新聞等で、「小学校6年生や中学校3年生を優先して登校させる」、「分散登校」といった報道があったが、それらは、感染者が多い都道府県や地域において求められていること、また、県立学校（主に高校）については、校区が広く、生徒が市を越えて通学しており、登下校時の公共交通機関における「3密」を回避するため、分散登校の措置を取るなど、市立の小・中学校とは対応が異なっているといった説明を記載している。

## 2 諫早市立幼稚園の再開について（通知）

4 ページ、5 ページ及び6 ページは、先に述べた小・中学校と同じ内容で、市立幼稚園長及び保護者あてに発出した文書である。

## 3 新型コロナウイルス感染症に係る教職員の服務について（通知）

7 ページは、教職員の服務について、改めて通知したものである。8 ページ及び9 ページについては、感染の疑いがあった場合の第一報について、教職員用及び児童生徒用の様式を定めたものである。10 ページは、以前から教育委員会の定例会でも何度か示している健康観察記録表である。

### 《教育長の報告に対する質問・意見》

[委員]

3月から5月にかけて、長きに渡る不安定な期間に伴い、子どもたちの登校拒否や、学校に馴染めないといった声・報告等は挙がってきていないか。

[教育長]

その点は、一番気になっているところではある。現在までに報告はないが、今後そういった声・報告を受けた際には、教育委員会定例会で報告する。

また、休校期間については、3月は13日間、4月は5日間、5月は3日間、合計21日間であるが、勉強を前に進めるためのワークシートを利用することで、遅れがでないよう、配慮しているところである。

[委員]

中学校においては部活動が再開されると報告があったが、医療現場の視点から、例年と比較し、けがをする子どもたちが多いように感じる。特に最近、気温が上がり、蒸し暑くなったため、熱中症が危惧される。休校期間中の遅れを取り戻そうとして、無理をする子どもたちが増えるのではないかと思われるため、今年は特に子どもたちの健康管理に注意していただきたい。

[教育長]

次期校長会の中でも話題にしたい。

### 《議 事》

報告第11号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案についての意見の申し出について（「令和2年度諫早市一般会計補正予算（第1号）」中、12款教育費））

学校教育課長 説明

[委員]

非接触型体温計が各学校に2本ずつとあるが、学校の大小等規模に応じて、不足が発生するなどの問題はないのか。

[学校教育課長]

今回補正予算で計上し、購入を予定している非接触型体温計のうち、1本は職員室または保健室に設置し、もう1本は野外教育等の際持ち出しが可能なものとして考えている。検温は自宅で済ませることを原則としており、検温を自宅で済ませていない子どもたちを対象としているため、学校によって不足が生じるといったことはないと考えられる。

参考までに、マスクについては、小・中学校の児童・生徒には国からの配付がなされているが、幼稚園児は配付対象外であるため、今回補正予算で計上している。

また、先日市内の「ジスコ不動産」より、小・中学校の児童・生徒に対してマスク1万8千枚の寄付をいただいた。今後活用したいと考えている

[委員]

学校に着用してくるマスクについては、色、柄等規定はあるのか。

[学校教育課長]

特にない。

[委員]

体育時、部活動時のマスク着用・非着用について、指導等なされているか。

[学校教育課長]

体育時、マスクは外している。部活動時、例えば陸上の場合などは、スタートする直前まで着用し、走るときは外すなど、臨機に対応している。

了承

#### 《学校教育課長の報告》

- 1 令和2年度全国学力・学習状況調査の取りやめについて
- 2 令和2年度新任校長校訪問の計画について
- 3 追加報告
  - (1) 市立中学校部活動の対外試合等の再開と市中総体の開催について（案）
  - (2) 市立小・中学校における夏休みの取り扱いについて

[委員]

市中総体時、部外生徒の学校待機について、例えば学校内で市中総体の映像が見られたりするのかな。

[学校教育課長]

確認はしていないが、映像が見られる環境はないと考える。

[委員]

応援ができないということは、学校で自習ということになるのかな。

[学校教育課長]

そうなると考える。

[委員]

学校行事は、準備から当日の開催まで含めて教育の一環であると考えている。学校行事の縮小、カット等については違和感があるが、いかがか。

[学校教育課長]

一概に縮小、カットというわけではなく、例えば、運動会については練習量が少なくて済むものを取り入れるなど、時間を有効活用できるよう、精査していきたいと考えている。

[教育長]

小学校の運動会時の応援合戦にしても、6年生から1年生までが集まって、子どもたちが考えて、練習して、その中で育つものがたくさんある。委員がおっしゃるとおり、学校行事はとても大切なものである。しかし、今後、新型コロナウイルスの第2波、インフルエンザ等の影響があったとき、学習時間を補えなくなるため、夏休み期間の取り扱いも含めて、できるだけ時間を稼いでおきたい、先に進んでいきたいという思いがある。

#### 《生涯学習課長の報告》

令和2年度『少年の主張』諫早市大会の中止について

[委員]

スマートフォンで動画を録って、それを審査するなどの方法は考えられなかったのか。

[生涯学習課長]

県大会は、インターネット回線を通じてリアルタイムで、また、インターネット環境がない地域においては、録画した動画をもって審査を行うこととしているが、本市においては、資料に記載があるように、「学校の臨時休業の状況等から、教育課程の履修が困難な状況にある」という理由もあるため、今回は中止という決定に至った。

## その他

教育総務課長

定例教育委員会の日程について説明

17時50分閉会